

森本草介《パンジー》制作年不詳 個人蔵

出品作家

井上三綱、大津英敏、織田廣喜、小田和典、尾花成春、熊谷守一、坂本善三、杉山洋、髙島野十郎、田崎廣助、田中春弥、平野遼、 藤田嗣治、藤田吉香、堀研、松永潤二、松本英一郎、森本草介、由衛健司、吉田博、吉田勇輔(五十音順)

八女市田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島108-1 TEL 0943-24-8304

前 期 2025 11/22 12/28 期 2026 2/23^{mo}

展示替えいたします。詳しい展示 内容は、当館ホームページでご確認 ください。

主入 開館時間 = 午前9時—午後5時 (入館は午後4時3分まで)

催=八女市、八女市教育委員会

休館 日 = 月曜(祝日の場合は翌日)

八女市田崎廣助美術館開館100周年記念 矯めつ眇めつのススメ

八女市田崎廣助美術館は、今年で開館 10 周年を迎えます。 10 周年を記念する特別展「矯めつ眇めつのススメ」では、田崎 廣助作品をはじめ、これまでの展覧会で特に人気を集めた作品、個人所蔵作品、そして当館の新収蔵作品を一堂にご紹介い たします。

本展のタイトル「矯めつ眇めつ」とは、物事をさまざまな角度から、近づいたり離れたりしながら、じっくりと吟味する様子を 表す言葉です。 本展では、まさにこの言葉どおり、近づいて細部の筆致や素材感を確かめ、離れて全体の色合いや構図を 感じ取る。あるいは、作品の背景に思いを馳せたり、ご自身の経験と重ね合わせたり。視点を変えるたびに、新たな発見や 感動が生まれることでしょう。 さらに、 新たな試みとして 「あなたの暮らしに、 アートを」 をコンセプトに、 絵画のある豊かな 日常生活を体感できるブースを設けました。お気に入りの絵画が日常に溶け込む喜びを、ぜひこの空間でご体感ください。 美術作品をじっくりと眺め、 新たな感動を見つけていただける展覧会です。 みなさまのご来館を心よりお待ちしております。

















- 1 髙島野十郎《秋葉散る頃》1930-1932年 個人蔵 (福岡県立美術館寄託)
- 2 藤田嗣治《自画像》『魅せられし河』より 初版1951年 ed100 2017年刷 個人蔵
- 3 松永潤二《月の行方》2021年 個人蔵
- 4 吉田博《雨後の八ケ岳(駒ヶ岳石室より)》1928年 個人蔵 5 田崎廣助《早春の富士山》1977年(財)田崎美術館蔵
- 6 吉田勇輔《からすうり(長月)》2018年 八女市蔵
- 7 松本英一郎《さくら》1990年 八女市蔵
- 8 平野遼《歩道の人》制作年不詳 個人蔵

関連イベント

お気軽美術講座

初心者向けの美術講座です。絵画鑑賞のヒントを軽妙に語ります。

日時:12月21日(日)13:30~15:00 担当:持丸末喜(八女市田崎廣助美術館 館長) 会場:立花公民館イベントホール(美術館展示室横) 定員:30名(先着順)/参加無料/申込不要

担当学芸員によるギャラリートーク

展覧会のみどころなどをお話しします。

日時:12月14日(日)、2月8日(日)14:00~(30分程度)

参加無料/申込不要

八女市田崎廣助美術館

福岡県八女市立花町原島 108-1 TEL 0943-24-8304 https://www.city.yame.fukuoka.jp/art_museum/



交通案内

●車でお越しの場合:

九州自動車道 八女 IC ~ ≪約 15 分》、広川 IC ~ ≪約 20 分》 駐車場無料(八女市役所立花支所の駐車場をご利用ください)

- ●電車・バスでお越しの場合:
- ・西鉄天神・大牟田線 西鉄福岡 (天神) 駅~西鉄久留米駅 →乗換 西鉄バス・八女方面「福島」≪約35分≫ ↓乗換 堀川バス・辺春平山線「丸野」≪約10分≫
- · 鹿児島本線 JR 博多駅~ JR 羽犬塚駅 ↓乗換 堀川バス・八女方面「福島」≪約35分≫ ↓乗換 堀川バス・辺春平山線「丸野」≪約10分≫

※堀川バス・辺春平山線は平日のみ運行

